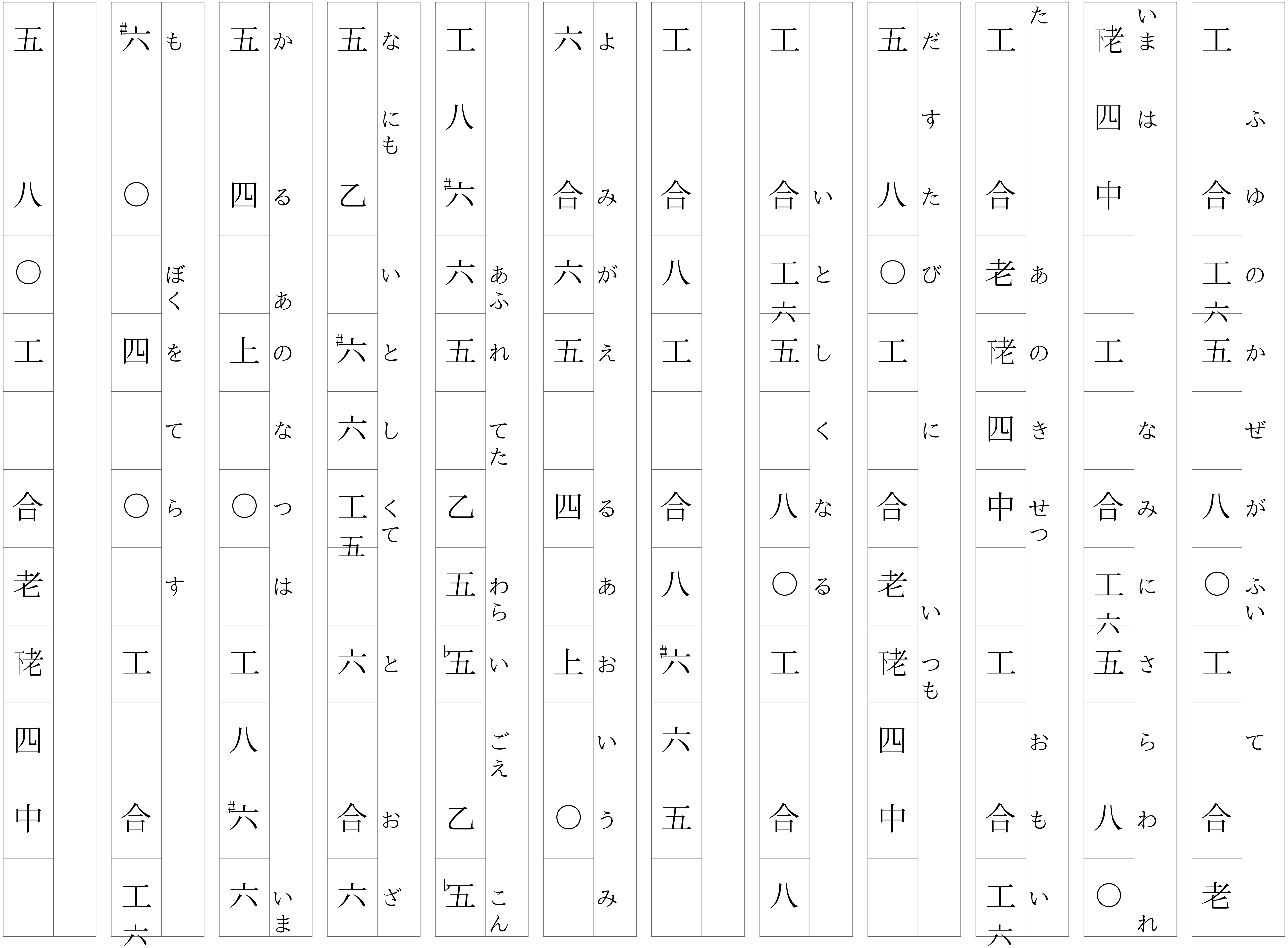
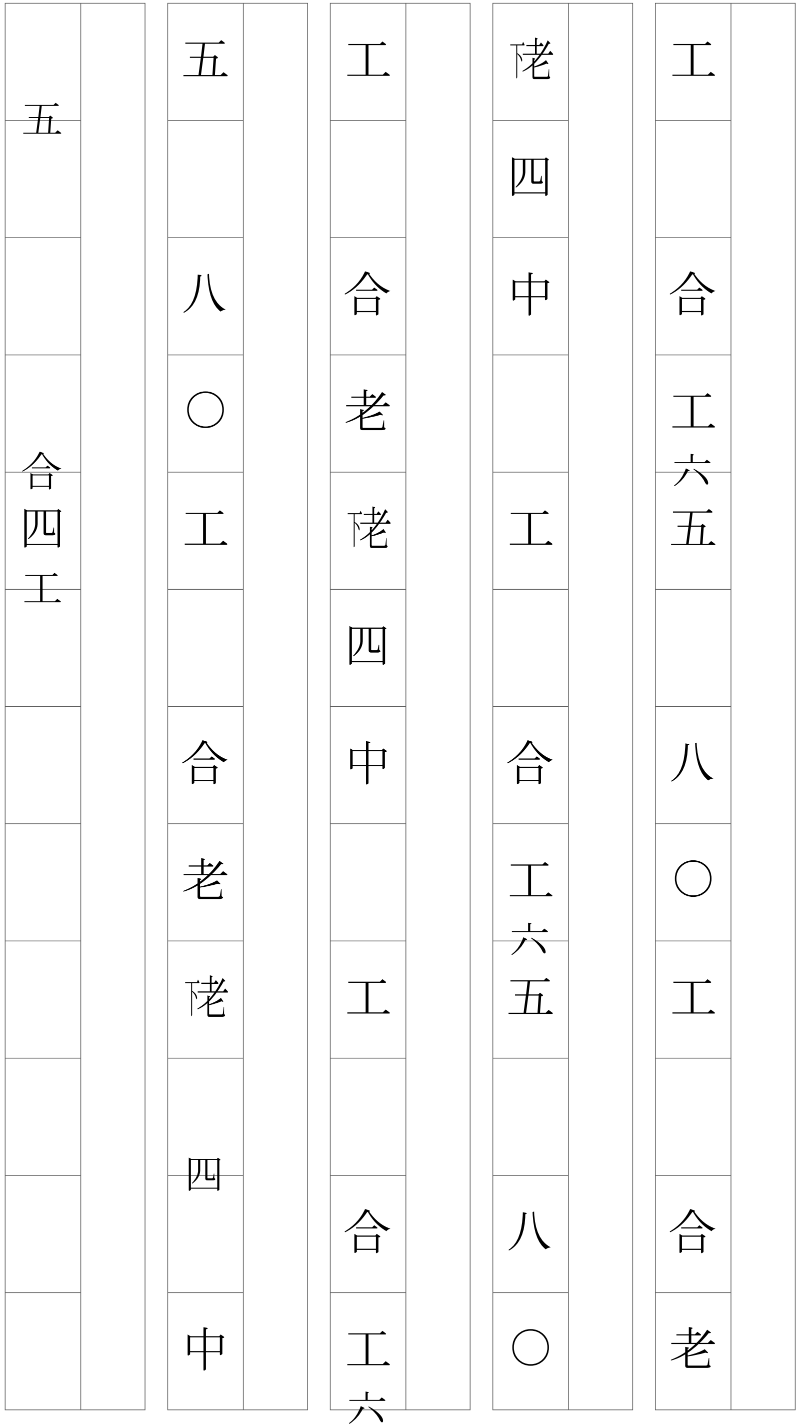
夏鮮想歌（かっせんそうか）／伊禮俊一オリジ

二揚


工 合 工六五 八 ○ 工 合 老
ふゆのかぜがふいて
佬 四 中 工 合 工六五 八 ○
いまは なみにさらわれ
工 合 老 佬 四 中 工 合 工六
た あのきせつ おもい
五 八 ○ 工 合 老 佬 四 中
だすたびに いつも
工 合 工六五 八 ○ 工 合 八
いとしくなる
工 合 八 工 合 八 ♯六 六 五
六 合 六 五 四 上 ○
よみがえる あおいうみ
工 八 ♯六 六 五 乙 五 ♭五 乙 ♭五
あふれてた わらいごえ こん
五 乙 ♯六 六 工五 六 合 六
なにも いとしくて とおざ
五 四 上 ○ 工 八 ♯六 六
かる あのなつは いま
♯六 ○ 四 ○ 工 合 工六
もぼくをてらす
五 八 ○ 工 合 老 佬 四 中

夏鮮想歌（かっせんそうか）／ 伊禮俊一オリジ

二揚


工 合 工 六 五 八 ○ 工 合 老
⿰丅老 四 中 工 合 工 六 五 八 ○
工 合 老 ⿰丅老 四 中 工 合 工 六
五 八 ○ 工 合 老 ⿰丅老 四 中
五 合 四 工

一、冬の風が吹いて今は
波にさらわれたあの季節
想い出すたびにいつも
愛しくなる
（※エエ四では1番Aメロ2回くり
かえしを省いてます）
一人が虚しくてまた
あの日を夢見る僕がいる
短い季節ほどにキレイな
君の姿
（サビ）
よみがえる青い海
あふれてた　笑い声
こんなにも　愛しくて
遠ざかるあの夏は
今も僕を照らす